

授業のアイデアを出し合いましょう！

「 $\alpha - \omega$ 」は、主に千葉県下の高等学校の数学科の教員(数学部会員)を対象とした雑誌(?)です。数学科の教員としての共通の話題といえば「数学の授業」でしょう。日々、様々な工夫をされている先生方が多いと思います。数学科の教員が複数いる学校では、「あの授業どうする?」とか「この単元の指導、どうしよう? どうやってる(た)?」のような会話が交わされることも多いですね。場合によっては「あ、こんなプリント使っているんだ。頂戴!(笑)」なんていうこともあるのではないのでしょうか。同じ高校の先生方だけで、そのような話題をするなんてもったいない!もしかすると、同じことで悩んでいる教員がお隣の学校にいるかもしれません。そこで、「 $\alpha - \omega$ 」では、『授業のタネ(種)』・『授業のネタ』、題して 授業の「タネ」^{±1} を掲載していきたいと思っています(ホームページにも掲載予定です)。

例えば、

授業の「タネ」^{±1}

行間は () や吹き出しで

数学の授業では、行間を指導することが多いと思います。そういったときに、私は(かっこ)や吹き出しを用いて板書しています。生徒にも最初の授業で、「これらのものはテストの答案には書かなくてもいいけれども、こうやっているんだよ」ということを示し、ノートに写すときにも「自分で考えて写しなさい」(つまり写しても写さなくてもどちらでもよい)と指導しています。

(例)

...

したがって、

$$2a + b = 5, -3a - 5b = -4$$

を連立させて解くと、

$$a = 3, b = -1$$

...

$$\left(\begin{array}{l} 2a + b = 5 \text{ より } b = 5 - 2a \\ \text{代入して} \\ -3a - 5(5 - 2a) = -4 \\ -3a - 25 + 10a = -4 \\ -3a + 10a = -4 + 25 \\ 7a = 21 \\ \boxed{\div 7} \\ a = 3 \\ b = 5 - 2 \times 3 = 5 - 6 = -1 \end{array} \right)$$

上は丁寧に途中の計算を書いた例です。生徒の実態によっては、吹き出しを使って「p.25」や「○○の定理」等とヒントだけ示すときもあります。

研究のようにページ数を割かなくても構いません。ほんの1ページ、いや数行でも構わないと思います。上記のような「誰もがやっているだろう」と自分では思っていることも、他の人にとっては、意外と「なるほどお」と思って目から鱗なんていうこともあるのではないのでしょうか? 職員室での授業の雑談のように、授業のタネ(ネタ)を皆さんで共有しませんか?

自作のプリントや手書きの原稿でも構いません。ちょっとしたタネ(ネタ)を編集委員会までご一報ください。